

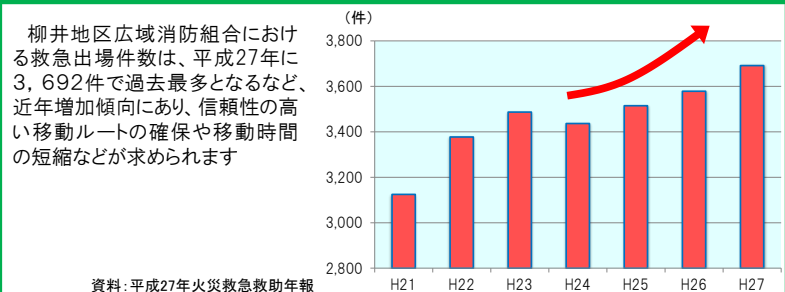
# 2 主な整備箇所(地域版)

## 2 柳井地域の現状と課題

課題①～⑤

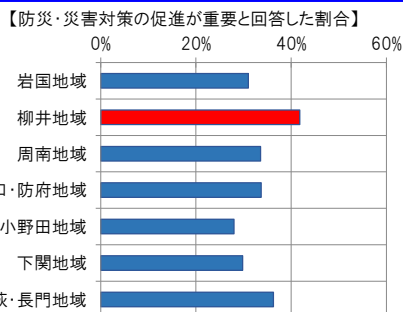
- 半島や離島、中山間地域で構成される1市4町の**交流・連携強化**
- 産業・観光振興**に資する広域交通拠点へのアクセス強化
- 歩行者や自転車利用者の**安全性確保**
- 救急医療施設**への搬送時間短縮
- 災害時**等にも機能する信頼性の高い道路網整備
- 道路施設(橋梁・トンネル等)の**老朽化対策**

### 救急出場件数の増加



### 県内共通 防災・災害対策への意識

平成27年度に実施した県政世論調査によると、「**防災・災害対策の促進**」が重要とされており、防災減災対策の推進や、安心・安全な生活道路の整備が求められています。



今後の道路整備を進めていくにあたって、どのようなことが重要だと思われますか？

### 半島・離島・中山間地域の振興

柳井地域は、柳井市、田布施町、平生町、上関町、及び周防大島町の1市4町で構成されており、その地形は瀬戸内海に面した市街地とその背後の丘陵地、室津半島、屋代島をはじめとする島しょ部から形成されています。中心都市である柳井市と他の町が相互に役割分担し、それぞれが持つ諸機能を相互に補完・連携しあいながら地域全体が発展するためには、都市間や拠点間の交流・連携の強化や、生活の利便性・安全性の向上が必要です。

#### 離島架橋(柳井地域)

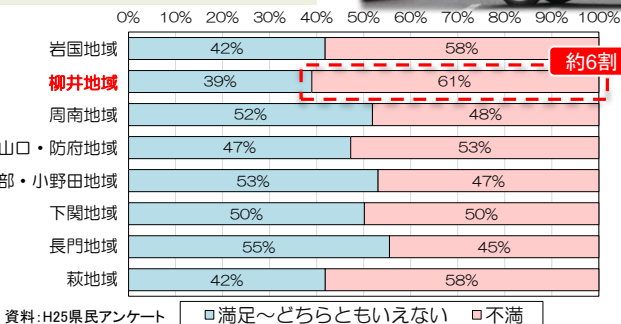
県内9橋の離島架橋のうち、3橋が柳井地域に存在します。離島架橋は、住民の日常生活、農水産物の集出荷、観光・交流活動、災害時における避難経路の確保などの面において重要な社会資本であり、施設の適切な維持管理を図ることが必要です。

橋梁名	路線名	橋長(m)	橋種	架設年
沖家室大橋	(一)白木漁港佐連線	380.0	PC箱桁橋	1983
大島大橋	(国)437号	1020.0	鋼トラス橋	1976
上関大橋	(主)光上関線	220.0	PC箱桁橋	1969

### 県内共通 歩行者・自転車利用者の不満

歩行者及び自転車利用者の約6割が不安を感じており、歩行者や自転車利用者を交通事故から守る取組が求められています。

よく使う道路の歩道を歩行あるいは自転車で走行する場合の安全性は、どう思いますか？



### 広域交通拠点とのアクセス

柳井地域は、美しい自然と歴史に恵まれた観光資源や温暖な気候による農林水産資源が豊富であり、これらを活かした地域の振興を図るため、高速道路や新幹線駅などの広域交通拠点へのアクセス性向上が求められています。

【新幹線駅30分圏カバー圏域】(H27現況)



#### 海の玄関口 柳井港

柳井港は、山口県と四国愛媛県を結ぶ「海の玄関口」として重要な役割を果たしています。

柳井地域の「海の玄関口」の新たなランドマークとして整備



～H27.3 柳井港ポートビル竣工～

- 道の駅
- 市役所等
- 観光地
- 主要渋滞箇所
- 第二次医療施設
- 広域連携軸
- 都市間連携軸
- 拠点間連携軸
- 都市拠点
- 地域拠点



### 県内共通 橋梁の耐震補強

大規模地震時に緊急輸送道路の橋梁や離島架橋、跨線橋、跨道橋が倒壊や落橋すると、救急・救援活動や緊急物資の輸送などに重大な支障が生じます。



### 県内共通 道路施設の老朽化

道路施設の老朽化は、利用者の安全性の確保に支障となるだけでなく、ネットワークの寸断等により社会経済活動の停滞をもたらす恐れがあります。



# 2 主な整備箇所(地域版)

## 2 柳井地域のみちづくり

### 整備が求められる主な路線

#### I 産業・地域を『支える』

- 観光客の利便性の向上
- 交流・連携の強化
- 生活の利便性の向上

2-a	国道188号 (柳井市南町～平生町築廻)
2-b	県道大島環状線

等

#### II 人々のいのちを『守る』

- 生活道路等における交通安全対策の推進
- 緊急車両の迅速かつ円滑な通行の確保

2-c	県道大島環状線
2-d	県道光柳井線

等

#### III 災害に『備える』

- 広域道路ネットワークの構築や安心・安全な生活道路の整備
- 防災・減災対策の推進
- 橋梁の耐震補強

2-e	県道柳井周東線
2-f	県道光上関線

等

#### IV 未来に『つなぐ』

- 老朽化した道路施設の計画的な修繕・更新等
- 日常的な維持管理の充実・効率化
- 異常気象時等の対応

国道437号
県道柳井玖珂線

等

- バイパス
- 現道拡幅
- 自歩道整備
- 歩道整備
- 交差点改良
- のり面対策
- 耐震化
- 長寿命化
- スマートインターチェンジ

- 道の駅
- 市役所等



### 主な整備中箇所

No.	路線名 (工区名等)	内容	道路整備 目標	4つの方針			
				支える	守る	備える	つなぐ
2-1	国道437号 (久賀拡幅)	現道拡幅	部分完成	●	●	●	
2-2	県道大島環状線 (古城)	バイパス	完成	●	●	●	
2-3	県道光上関線 (室津)	バイパス	事業継続	●	●	●	
2-4	県道橋東和線 (地家室)	バイパス	完成	●		●	
2-5	県道柳井上関線 (伊保庄)	バイパス	事業継続	●	●	●	
2-6	県道東浦西浦線 (黒鼻～赤崎)	現道拡幅	完成	●		●	
2-7	県道大島環状線 (横見)	歩道整備	完成	●	●	●	
2-8	県道別府田布施停車場線 (下田布施)	自歩道整備	完成	●	●	●	
2-9	県道平生港田布施線 (麻郷)	自歩道整備	完成	●	●	●	
2-10	都計道八和田定井手線 (波野～下田布施)	自歩道整備	完成	●	●	●	
2-11	県道大島環状線 (小松開作～西安下庄)	のり面対策	事業継続			●	
2-12	県道光上関線 (平生新橋)	耐震化	完成			●	
2-13	国道437号 (大島大橋)	長寿命化	事業継続				●
2-14	県道柳井上関線 (阿月トンネル)	長寿命化	事業継続				●

ここで示す「道路整備目標」は、予算の確保、用地取得等が予定通りに進捗した場合の現時点における目標を示したものです。

## 2 主な整備箇所(地域版)

### 2 柳井地域の主な整備中箇所

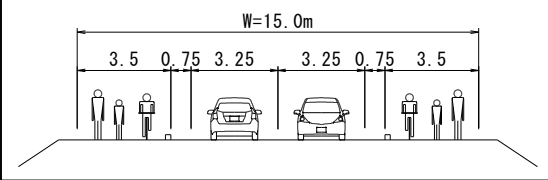
#### 2-1 国道437号(久賀拡幅)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

##### 概要

● 内容	現道拡幅
● 延長	L=0.9km
● 幅員	W=15.0m
● 着手年度	平成8年度

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭く大型車のすれ違いが困難な箇所を解消します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。



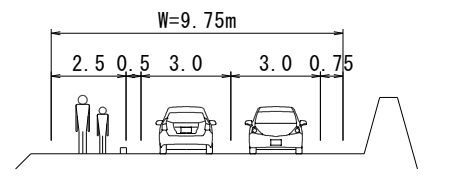
#### 2-3 県道光上関線(室津)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

##### 概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=0.6km
● 幅員	W=9.75m
● 着手年度	平成27年度

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 急なカーブで見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。



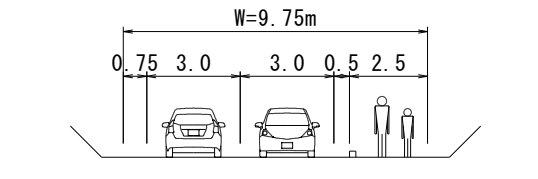
#### 2-2 県道大島環状線(古城)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

##### 概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=0.3km
● 幅員	W=9.75m
● 着手年度	平成26年度

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所を解消します。
- ◆ 歩行者の通行の安全を確保します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。



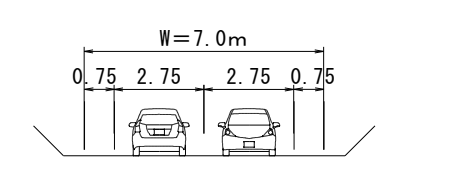
#### 2-4 県道橋東和線(地家室)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

##### 概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=0.7km
● 幅員	W=7.0m
● 着手年度	平成27年度

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 国道437号へのアクセス性を向上します。



## 2 主な整備箇所(地域版)

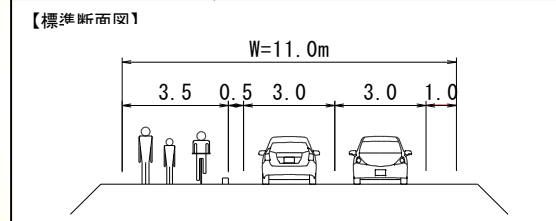
### 2 柳井地域の主な整備中箇所

#### 2-5 72 県道柳井上関線(伊保庄)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

##### 概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=4.5km
● 幅員	W=11.0m
● 着手年度	平成13年度



##### 目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所を解消します。
- ◆ 柳井市街地と室津半島地域との交流促進や連携強化を図ります。
- ◆ 国立病院機構柳井医療センターへのアクセス性を向上します。

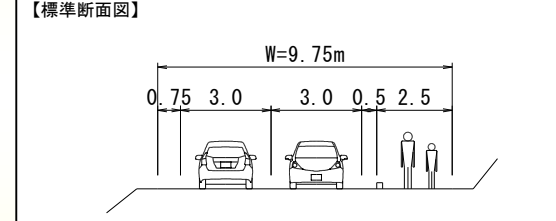


#### 2-7 4 県道大島環状線(横見)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

##### 概要

● 内容	歩道整備
● 延長	L=0.8km
● 幅員	W=9.75m
● 着手年度	平成24年度



##### 目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安全を確保します。
- ◆ 道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所を解消します。

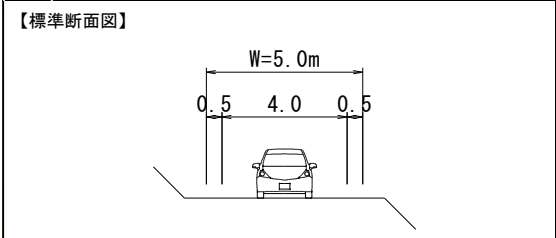


#### 2-6 155 県道東浦西浦線(黒鼻～赤崎)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

##### 概要

● 内容	現道拡幅
● 延長	L=1.0km
● 幅員	W=5.0m
● 着手年度	平成23年度



##### 目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 島の東西の連携を強化します。

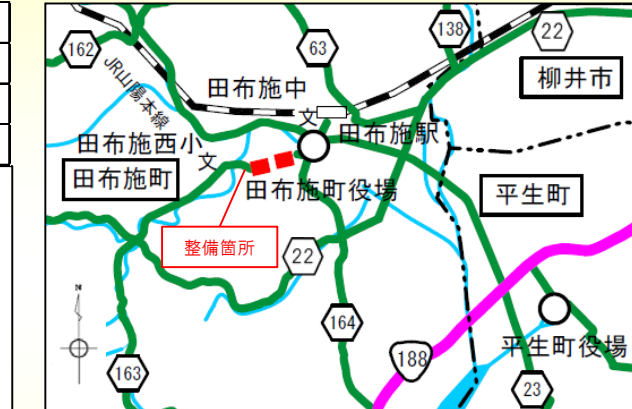
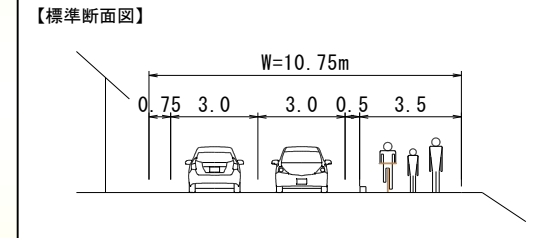


#### 2-8 163 県道別府田布施停車場線(下田布施)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

##### 概要

● 内容	自歩道整備
● 延長	L=0.7km
● 幅員	W=10.75m
● 着手年度	平成26年度



##### 目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。
- ◆ 車道を拡幅し、安全で円滑な交通を確保します。



## 2 主な整備箇所(地域版)

### 2 柳井地域の主な整備中箇所

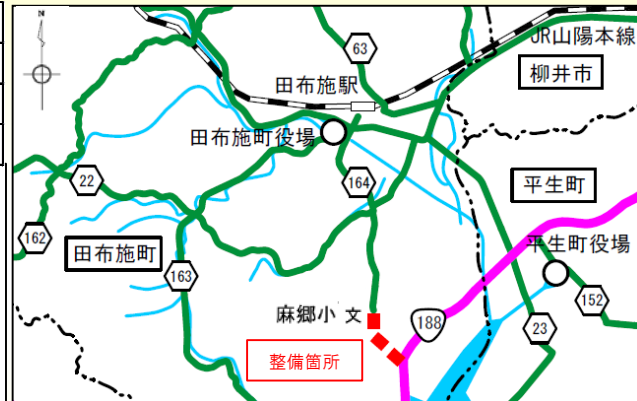
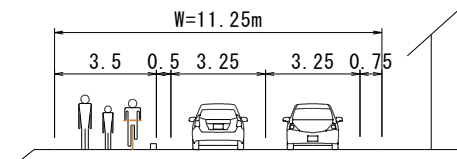
#### 2-9 164 県道平生港田布施線(麻郷)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

##### 概要

● 内容	自歩道整備
● 延長	L=1.0km
● 幅員	W=11.25m
● 着手年度	平成25年度

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。
- ◆ 線形を改良し、急なカーブを解消します。



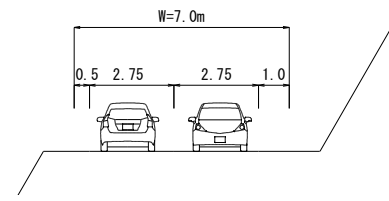
#### 2-11 4 県道大島環状線(小松開作～西安下庄)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

##### 概要

● 内容	のり面対策
● 延長	L=0.4km
● 幅員	W=7.0m
● 着手年度	平成25年度

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 道路利用者の安全な通行や災害時の円滑な緊急輸送を確保します。



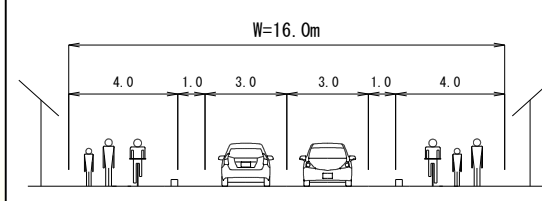
#### 2-10 都計道八和田定井手線(波野～下田布施) <22 県道光柳井線>

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

##### 概要

● 内容	自歩道整備
● 延長	L=0.5km
● 幅員	W=16.0m
● 着手年度	平成25年度

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。



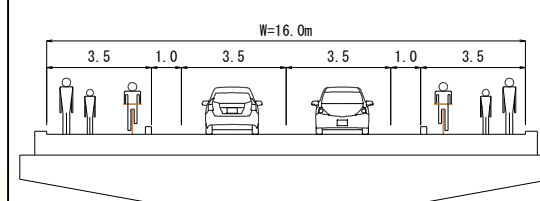
#### 2-12 23 県道光上関線(平生新橋)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

##### 概要

● 内容	耐震化
● 延長	L=0.06km
● 幅員	W=16.0m
● 着手年度	平成24年度

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 大地震時に落橋に至るような致命的な被害を防止するだけでなく、地震後、橋梁としての機能の回復が速やかにいける性能を確保します。
- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。



## 2 主な整備箇所(地域版)

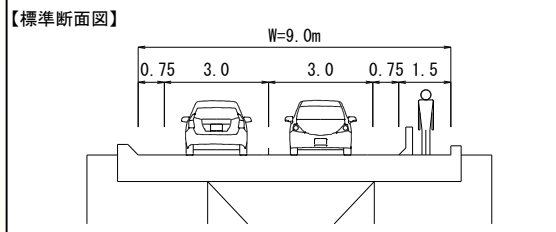
### 2 柳井地域の主な整備中箇所

#### 2-13 437 国道437号(大島大橋)

支える	守る	備える	つなぐ
			●

##### 概要

● 内容	長寿命化
● 延長	L=1.0km
● 幅員	W=9.0m
● 着手年度	平成11年度



##### 目的(効果)

- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。

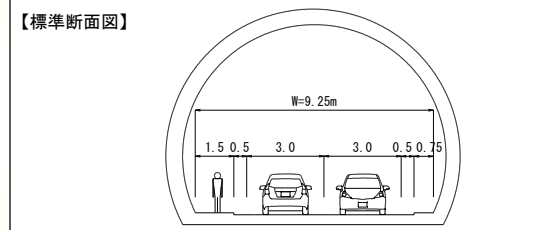


#### 2-14 72 県道柳井上関線(阿月トンネル)

支える	守る	備える	つなぐ
			●

##### 概要

● 内容	長寿命化
● 延長	L=0.3km
● 幅員	W=9.25m
● 着手年度	平成26年度



##### 目的(効果)

- ◆ トンネルの定期点検結果を踏まえ、健全度が低下する前に補修や補強等の適切な措置を実施、施設の長寿命化を図ります。





# 2 主な整備箇所(地域版)

## 3 周南地域のみちづくり

### 整備が求められる主な路線

#### I 産業・地域を『支える』

- 物流等の迅速化・円滑化
- 特殊車両通行許可制度の改善等
- 交流・連携の強化
- バイパス整備や交差点改良等による渋滞対策の推進

- 3-a 地域高規格道路周南道路
- 3-b 県道下松新南陽線

等

#### II 人々のいのちを『守る』

- 生活道路等における交通安全対策の推進

- 3-c 県道新南陽津和野線
- 3-d 県道光日積線

等

#### III 災害に『備える』

- 広域道路ネットワークの構築や安心・安全な生活道路の整備
- 防災・減災対策の推進
- 橋梁の耐震補強

- 3-e 国道315号
- 3-f 県道笠戸島線

等

#### IV 未来に『つなぐ』

- 老朽化した道路施設の計画的な修繕・更新等
- 日常的な維持管理の充実・効率化
- 異常気象時等の対応

- 県道下松新南陽線
- 県道徳山港線

等

- バイパス
- 現道拡幅
- 自歩道整備
- 歩道整備
- 交差点改良
- のり面対策
- 耐震化
- 長寿命化
- スマートインターチェンジ

- 道の駅
- 市役所等



### 主な整備中箇所

No.	路線名 (工区名等)	内容	道路整備 目標	4つの方針			
				支える	守る	備える	つなぐ
3-1	国道2号 (周南立体)	バイパス	事業継続	●	●	●	
3-2	国道2号 (富海拡幅)	現道拡幅	事業継続	●	●	●	
3-3	県道徳山光線 (阿田川)	バイパス	完成 (H28)	●	●	●	
3-4	県道鹿野吉賀線 (鹿野上)	現道拡幅	事業継続	●		●	
3-5	県道光柳井線 (虹ヶ丘)	バイパス	事業継続	●	●	●	
3-6	県道串戸田線 (木屋ヶ道～柚木河内)	バイパス	完成	●	●	●	
3-7	県道新南陽津和野線 (下上)	自歩道整備	完成	●	●	●	
3-8	県道光日積線 (草場)	自歩道整備	完成	●	●	●	
3-9	県道光玖珂線 (鳥田)	自歩道整備	完成	●	●	●	
3-10	県道勝間停車場線 (勝間)	自歩道整備	完成	●	●	●	
3-11	都計道川園線 (県道徳山光線) (浅江～木園一丁目)	自歩道整備	事業継続	●	●	●	
3-12	都計道国道山手線 (県道下松新南陽線) (清瀬町～末武中)	現道拡幅	事業継続	●	●	●	
3-13	都計道中央通線 (県道下松新南陽線) (久米)	現道拡幅	事業継続	●	●	●	
3-14	都計道中央通り線 (県道下松新南陽線) (西松原～西千代田町)	現道拡幅	完成	●	●	●	
3-15	都計道新南陽停車場線 (県道新南陽津和野線) (政所～下上)	自歩道整備	完成	●	●	●	
3-16	県道笠戸島線 (笠戸島)	のり面対策	事業継続			●	
3-17	県道徳山下松線 (荒神大橋)	耐震化	完成			●	
3-18	国道434号 (菅野トンネル)	長寿命化	事業継続				●
3-19	県道笠戸島公園線 (笠戸大橋)	長寿命化	事業継続				●

ここで示す「道路整備目標」は、予算の確保、用地取得等が予定通りに進捗した場合の現時点における目標を示したものです。



## 2 主な整備箇所(地域版)

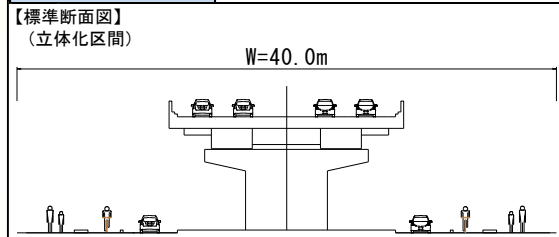
### 3 周南地域の主な整備中箇所

#### 3-1 国道2号(周南立体)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

##### 概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=3.5km
● 幅員	W=40.0m
● 着手年度	平成20年度



##### 目的(効果)

- ◆ 周南市内における国道2号の渋滞を緩和します。
- ◆ 交差点を整備し、追突事故の削減など、安全な交通を確保します。

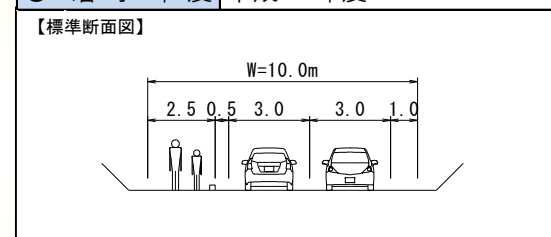


#### 3-3 県道徳山光線(阿田川)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

##### 概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=1.3km
● 幅員	W=10.0m
● 着手年度	平成11年度



##### 目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所を解消します。
- ◆ 国道376号へのアクセス性を向上します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安全を確保します。

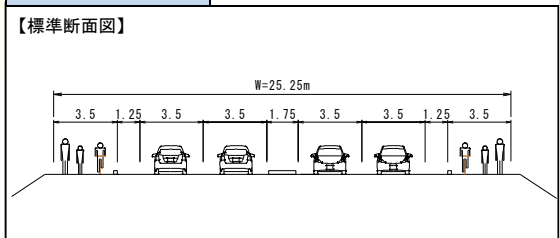


#### 3-2 国道2号(富海拡幅)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

##### 概要

● 内容	現道拡幅
● 延長	L=3.6km
● 幅員	W=25.25m
● 着手年度	平成23年度



##### 目的(効果)

- ◆ 防府市から周南市間における国道2号の渋滞を緩和します。
- ◆ 線形不良箇所の解消や中央分離帯を設置し、安全で円滑な交通を確保します。

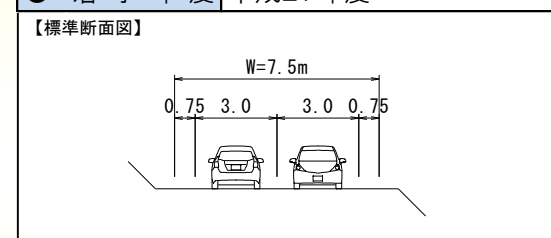


#### 3-4 県道鹿野吉賀線(鹿野上)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

##### 概要

● 内容	現道拡幅
● 延長	L=0.4km
● 幅員	W=7.5m
● 着手年度	平成27年度



##### 目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 温泉施設やオートキャンプ場等の観光施設へのアクセス性を向上します。
- ◆ 旧鹿野町市街地へのアクセス性を向上します。



## 2 主な整備箇所(地域版)

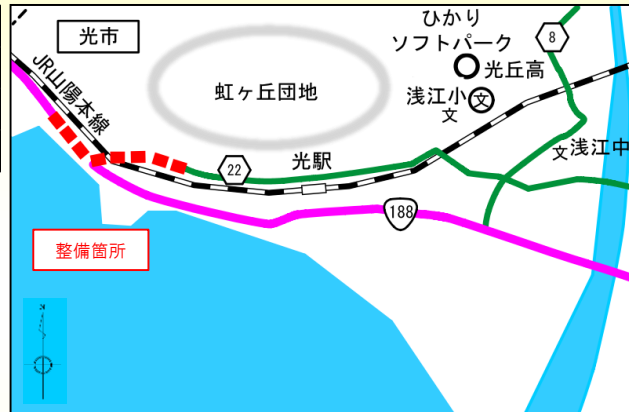
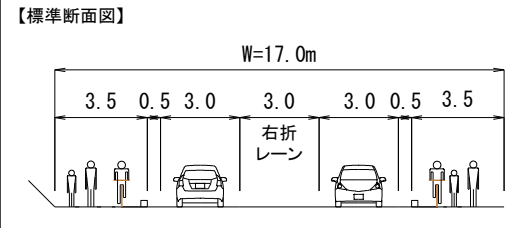
### 3 周南地域の主な整備中箇所

#### 3-5 22 県道光柳井線(虹ヶ丘)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

##### 概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=0.8km
● 幅員	W=17.0m
● 着手年度	平成27年度



##### 目的(効果)

- ◆ 光市街地の渋滞を緩和します。
- ◆ 国道188号へのアクセス性を向上します。
- ◆ 歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。

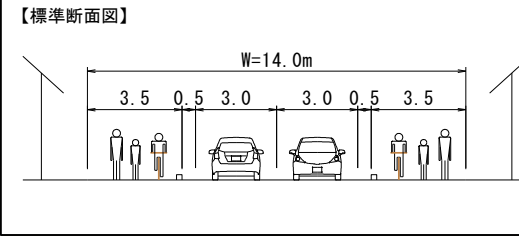


#### 3-7 3 県道新南陽津和野線(下上)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

##### 概要

● 内容	自歩道整備
● 延長	L=0.7km
● 幅員	W=14.0m
● 着手年度	平成25年度



##### 目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。
- ◆ 車道を拡幅し、安全で円滑な通行を確保します。

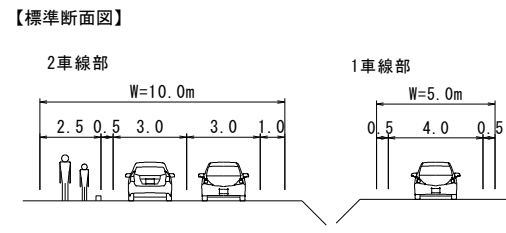


#### 3-6 192 県道串戸田線(木屋ヶ迫～柚木河内)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

##### 概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=2.3km
● 幅員	W=10.0m, 5.0m(1.5車線の道路整備)
● 着手年度	平成13年度



##### 目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 湯野温泉や病院、リハビリ施設へのアクセス性を向上します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安全を確保します。

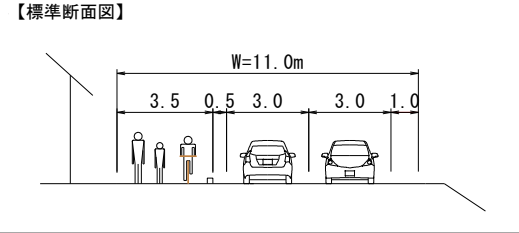


#### 3-8 68 県道光日積線(草場)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

##### 概要

● 内容	自歩道整備
● 延長	L=1.6km
● 幅員	W=11.0m
● 着手年度	平成14年度



##### 目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。
- ◆ 線形を改良し、急なカーブを解消します。



## 2 主な整備箇所(地域版)

### 3 周南地域の主な整備中箇所

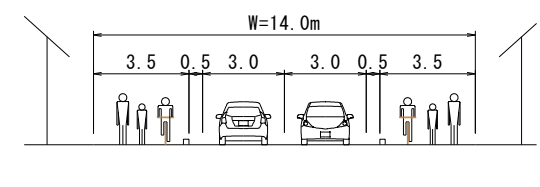
#### 3-9 144 県道光玖珂線(島田)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

##### 概要

● 内容	自歩道整備
● 延長	L=0.8km
● 幅員	W=14.0m
● 着手年度	平成24年度

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。
- ◆ 車道を拡幅し、安全で円滑な交通を確保します。



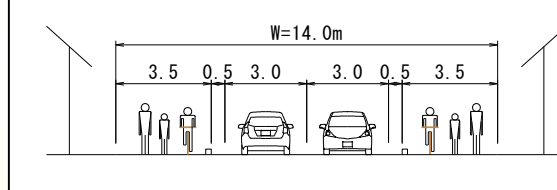
#### 3-11 都計道川園線(浅江～木園一丁目) 8 県道徳山光線

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

##### 概要

● 内容	自歩道整備
● 延長	L=0.8km
● 幅員	W=14.0m
● 着手年度	平成27年度

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ JR山陽本線と立体交差化し、踏切事故の危険性を解消するとともに、円滑な交通を確保します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。



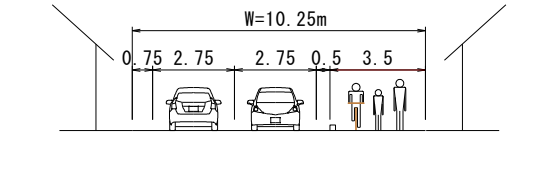
#### 3-10 168 県道勝間停車場線(勝間)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

##### 概要

● 内容	自歩道整備
● 延長	L=0.1km
● 幅員	W=10.25m
● 着手年度	平成26年度

【標準断面図】(予定)



##### 目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。
- ◆ 車道を拡幅し、安全で円滑な通行を確保します。



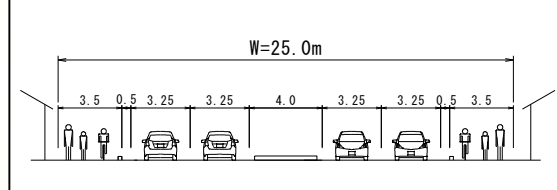
#### 3-12 都計道国道山手線(清瀬町～末武中) 347 県道下松新南陽線

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

##### 概要

● 内容	現道拡幅
● 延長	L=1.0km
● 幅員	W=25.0m
● 着手年度	平成26年度

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 下松市から周南市間における渋滞を緩和します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。



## 2 主な整備箇所(地域版)

### 3 周南地域の主な整備中箇所

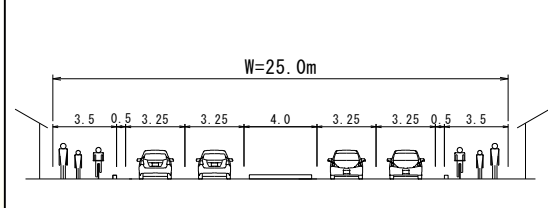
#### 3-13 都計道中央通線(久米) 〈**347** 県道下松新南陽線〉

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

##### 概要

● 内容	現道拡幅
● 延長	L=0.6km
● 幅員	W=25.0m
● 着手年度	平成26年度

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 下松市から周南市間における渋滞を緩和します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。



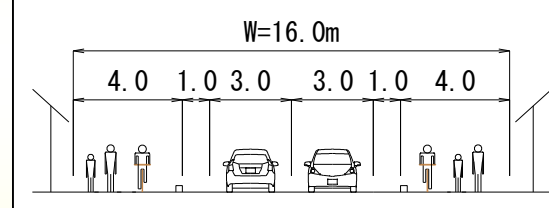
#### 3-15 都計道新南陽停車場線(政所～下上) 〈**3** 県道新南陽津和野線〉

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

##### 概要

● 内容	自歩道整備
● 延長	L=0.8km
● 幅員	W=16.0m
● 着手年度	平成5年度

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。



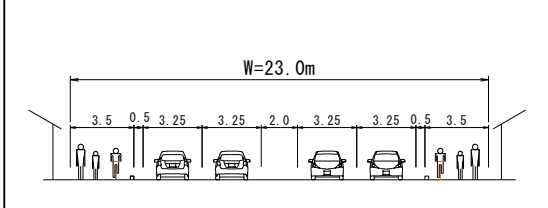
#### 3-14 都計道中央通り線(西松原～西千代田町) 〈**347** 県道下松新南陽線〉

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

##### 概要

● 内容	現道拡幅
● 延長	L=1.1km
● 幅員	W=23.0m
● 着手年度	平成15年度

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 周南市内における渋滞を緩和します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。



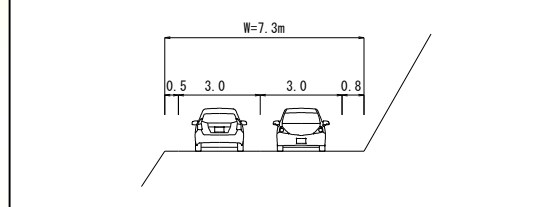
#### 3-16 **173** 県道笠戸島線(笠戸島)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

##### 概要

● 内容	のり面対策
● 延長	L=0.3km
● 幅員	W=7.3m
● 着手年度	平成24年度

【標準断面図】



##### 目的(効果)

- ◆ 道路利用者の安全な通行や災害時の円滑な緊急輸送を確保します。



## 2 主な整備箇所(地域版)

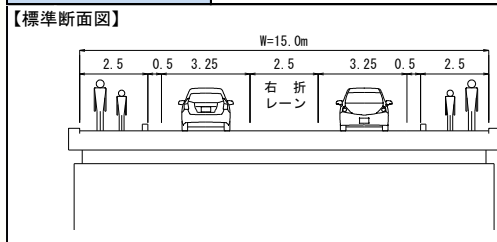
### 3 周南地域の主な整備中箇所

#### 3-17 366 県道徳山下松線(荒神大橋)

支える	守る	備える	つなぐ
		●	

##### 概要

● 内容	耐震化
● 延長	L=0.1km
● 幅員	W=15.0m
● 着手年度	平成23年度



##### 目的(効果)

- ◆ 大地震時に落橋に至るような致命的な被害を防止するだけでなく、地震後、橋梁としての機能の回復が速やかに行い得る性能を確保します。

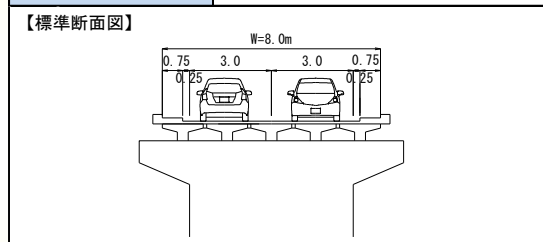


#### 3-19 174 県道笠戸島公園線(笠戸大橋)

支える	守る	備える	つなぐ
			●

##### 概要

● 内容	長寿命化
● 延長	L=0.5km
● 幅員	W=8.0m
● 着手年度	平成23年度



##### 目的(効果)

- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。

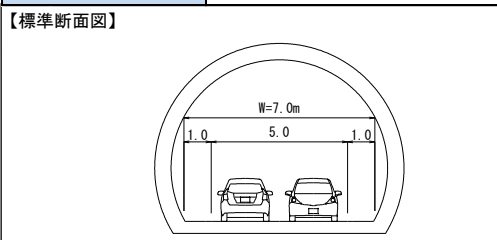


#### 3-18 434 国道434号(菅野トンネル)

支える	守る	備える	つなぐ
			●

##### 概要

● 内容	長寿命化
● 延長	L=0.2km
● 幅員	W=7.0m
● 着手年度	平成26年度



##### 目的(効果)

- ◆ トンネルの定期点検結果を踏まえ、健全度が低下する前に補修や補強等の適切な措置を実施し、施設の長寿命化を図ります。

